

「教育職員の時間外勤務等の縮減に向けた取組方策」の実施状況			
取組項目	平成21年度の取組状況	平成22年度の取組状況	平成23年度の取組予定
① 学校等の事務処理体制の改善			
管理職向けマネジメント研修の充実	○既存の管理職向け研修の内容に、勤務時間の管理についての研修項目を追加 ・新任校長研修、副校長・教頭研修、校長教頭学校経営力向上研修講座における「教職員の服務と人事管理」など	【措置済】	○管理職員を対象としたメンタルヘルスセミナーの開催
定時退勤日等の徹底	○全道的取組である「時間外勤務等縮減強調週間」と「定時退勤日」の取組の強化 ・「強調週間」の全校100%実施（年2回） ・定時退勤日の実施回数増（月1回→月2回以上） 【実施率】 ・強調週間の実施率 98.6% ・定時退勤日の月2回以上の実施率 72.7%	○全道的な取組として、「時間外勤務等縮減強調週間」と「定時退勤日」に加え、「会議等の改善」を追加 【実施率（H22.9）】 ・強調週間の実施率 98.6% ・定時退勤日の月2回以上の実施率 81.9% ・会議等の改善の取組実施率 95.1%	○全道的な取組として、「時間外勤務等縮減強調週間」、「定時退勤日」、「会議等の改善」を継続実施
学校の業務改善	○業務の集約化など道立学校の事務の効率化・省力化 ・給与・旅費の口座振替の推進 ・経理や旅費にかかる簡易システムの導入	○業務の集約化など道立学校の事務の効率化・省力化 ・各教育局に「道立学校運営支援室」を設置〔平成22年4月〕 ・共通物品購入契約や各種支払業務などを集約	○業務の集約化など道立学校の事務の効率化・省力化の推進 ・委託契約、役務等の契約、工事契約の業務集約 ・小規模補修工事事務や生産物受入事務の効率化
		○複数校が協力して効率的に実施する学校業務の調査研究 ・2市町村で調査研究を実施	○調査研究結果の普及啓発
修学旅行の引率業務に係る勤務時間の変更	○「修学旅行の引率業務に従事する道立学校職員の勤務時間の割振り等に関する要領」の決定	【措置済】	
ICT機器の整備	○道立学校における、教員1人1パソコン整備【整備済】 ○市町村立学校における、教員1人1パソコンと校内LAN整備の働きかけ 【公立小中学校の整備率（H21.3現在）】 ・校務用パソコン整備率 41.9% ・校内LANに接続された校務用パソコンの教員数に対する割合 36.3%（札幌市を除く） ○校内LAN運用規定やセキュリティ管理等に関する情報提供 ・校内LAN等に関するガイドライン例など、道立教育研究所HPから取得できるマニュアルを作成し、周知 ○校内LAN構築及び運用、セキュリティに関わる研修講座の充実 ・全管内において「情報モラル教育」の研修を実施	【措置済】 【措置済】 【公立小中学校の整備率（H22.3現在）】 ・校務用パソコン整備率 66.6% ・校内LANに接続された校務用パソコンの教員数に対する割合 60.3%（札幌市を除く） 【措置済】 【措置済】	
ICT機器の活用	○成績一覧表などの校務処理用シート等の資料提供及び指導助言 ○ICT機器を活用した校務の情報化及び教材作成にかかわる道研研修講座の充実	○校務の情報化の推進に関する研究」（平成22年度から2年間）の実施 ・オープンソースソフトウェアの活用等に関するマニュアルの作成	○校務の情報化の推進に関する研究」（平成22年度から2年間）の成果の普及啓発
北海道公立学校校務システムの構築	○児童生徒の情報等を一括管理し処理する「北海道公立学校校務システム」の業務分析・基本設計	○平成24年度の本格実施に向けて、プログラムの詳細設計	○平成24年度の本格実施に向け、システム構築及び試験運用
学校の組織運営体制の整備	○副校長・主幹教諭の配置 ・副校長 12名配置 ・主幹教諭 28名配置	【措置済】	
② 調査等の業務の見直し			
調査事務の2割削減	○調査事務を1割削減	・平成22年度の調査事務について、今後実績を把握	【取組継続】
届出・報告事項・様式等の見直し	○各種届出・報告事項等の見直し、書類の様式の簡素化等の検討（例）高校入学者選抜に係る個人調査書のダウンロード対応	【取組継続】	【平成24年度～】公立学校校務システムに反映
③ 部活動指導の実施体制の検討			
適正な部活動のあり方に係る申し合わせの実現	○北海道高等学校長協会が「部活動に係る留意事項」をとりまとめ（平成22年2月） ○北海道中学校長会と北海道中学校体育連盟が「部活動に係る留意事項」をとりまとめ（平成22年5月） ○「学校における部活動指導の実施体制について」道教委通知（平成22年5月） 【部活動に係る留意事項の概要】 ・週に1日程度は休養日を設けること ・授業日においては、放課後の2～3時間程度で活動が終わるようにすること ・休日においては、早朝から終日に渡る活動を極力避けること ・特定の教職員に負担が偏らないよう、可能な限り複数顧問の配置を検討すること ○学校における部活動指導の実施体制に関するアンケートの実施	○北海道中学校長会と北海道中学校体育連盟が「部活動に係る留意事項」をとりまとめ（平成22年5月） ○「学校における部活動指導の実施体制について」道教委通知（平成22年5月） 【部活動に係る留意事項の概要】 ・週に1日程度は休養日を設けること ・授業日においては、放課後の2～3時間程度で活動が終わるようにすること ・休日においては、早朝から終日に渡る活動を極力避けること ・特定の教職員に負担が偏らないよう、可能な限り複数顧問の配置を検討すること ○学校における部活動指導の実施体制に関するアンケートの実施	○部活動に係る留意事項の周知徹底
部活動マネジメントの情報提供	○効果的な指導により成果をあげている学校等の情報収集	○「効果的な部活動指導の推進」（部活動指導の実践事例集）の作成（平成23年3月予定）	○効果的な指導により成果をあげている学校等の情報収集及び学校への情報提供
部活動の位置づけの検討	○社会教育団体との連携やPTA等の活用なども含め、部活動の一部を学校管理外と位置づける場合の制度上の課題や可能性等について検討	【引き続き検討】	【引き続き検討】
外部指導者の活用	○スポーツエキスパート活用事業（道） 道立高校20校に、21名の外部指導者を派遣 ○地域スポーツ人材の活用実践事業（国） 中学校3校に、3名の外部指導者を派遣	○スポーツエキスパート活用事業（道） 道立高校29校に、31名の外部指導者を派遣 ○地域スポーツ人材の活用実践事業（国） 中学校5校に、6名の外部指導者を派遣	【取組継続】
		○運動部活動外部指導者人材リストの作成・HP掲載（H22.9） ・27種目、228名の外部指導者を登録	○運動部活動外部指導者リストの一層の活用促進
		○部活動指導員の配置 ・非常勤の部活動指導員を配置することにより、指導方法及び指導体制を工夫し、効果的な指導の在り方を調査研究 ・調査研究校～高校1校、中学校1校	○調査研究成果の普及啓発
④ 授業準備等への支援			
教材等の各種コンテンツの提供	○道研のHPや「ほっかいどうスクールネット」を利用した教材等の各種コンテンツの提供の充実 ・「ほっかいどうスクールネット」の教材用ライブラリの充実 ・各種教科研究会等の研究内容の活用等 ・「北海道コア・アビリティ」の成果（学習指導案等）の提供	【取組継続】	【取組継続】
道研の研究相談体制の充実	○HPやリーフレットによるPRの実施 ・研究相談件数（H22.1末現在） 355件	【取組継続】	【取組継続】
補習授業等の支援	○退職教員等外部人材活用事業における放課後の補習授業の実施	【措置済】	
⑤ 保護者・地域への対応			
保護者等対応のポイントに掲載した資料の作成等	○保護者等との良好な関係づくりのための事例集」の作成（平成21年4月）	【措置済】	
保護者等対応の研修への協力・支援	○保護者等への対応に関する研修項目の実施 ・新任校長・教頭研修会における「学校における危機管理」など	【措置済】	
保護者等対応への支援		○保護者等からの要望等に対する弁護士による法律相談についての調査研究	○調査研究結果の検証
⑥ 学校支援地域本部事業の活用			
教員の負担軽減につながる事業内容の充実と取組の普及啓発	○学校支援ボランティアの活用 ・学校支援地域本部事業の実施状況 実施市町村数：178市町村（札幌市を除く） 本部数：233本部（札幌市を除く） ・地域コーディネーター研修会、事業成果報告会の開催 ・情報提供（啓発用パンフレットの発行など）	【措置済】	

時間外勤務等の縮減に向けて

時間外勤務等の実態

- 平成20年の実態調査において、教員の勤務日における1日の平均労働時間は、校長が約10時間、教頭が約12時間、教諭が約10～11時間となっています。
- また、勤務日における1日の持ち帰り時間は、小学校教諭で37分と最も長く、その他の職種については、20分程度となっています。

ポイント

- 長時間に及ぶ時間外勤務は、職員の心身の健康などに影響を与えるおそれがあることや、子どもと向き合う時間を拡充する観点から、縮減に向けて取り組まなければならない重要な課題です。
- 学校では、家庭や地域の教育力の低下や学校への様々な要求への対応など多くの課題があり、先生方の業務は多様化・多忙化が進んでいます。
- 他方で、学力向上とその基盤となる豊かな心、健やかな体を育成していくためにも、時間外勤務等の縮減に取り組み、先生方が一人ひとりの子どもと向き合う時間を確保していかなければなりません。
- 学校においては、先生方の一層の意識改革を図りながら、道教委が策定した『取組方策』を踏まえた効果的な取組を進めるなど、学校全体で時間外勤務等の縮減に取り組みましょう。

学校ができる取組を進めましょう！

（具体的な取組）

- ▼ 業務が特定の職員に集中しないよう、分掌や業務連携を工夫
- ▼ ファイリングシステムの徹底やICT機器の活用による各種データの共有
- ▼ 「時間外勤務等縮減強調週間」については年2回以上、「定時退勤日」については月2回以上設定
- ▼ 会議の開始・終了時間の厳守等による会議の効率化
- ▼ 各種コンクールや行事への作品公募や審査等の参加・協力業務の精選
- ▼ 部活動休止日や活動時間の設定を検討
- ▼ 部活動期間の複数化や外部指導者の活用
- ▼ 教材等の情報の共有化を図るとともに、若手教員の授業準備を支援
- ▼ 保護者等からの多様な要望・苦情について、職員が共通認識を持って対応できるよう校内研修を実施 など（詳細については、別紙をご覧ください。）



道教委では次の取組を進めています！

有識者等で構成する「時間外勤務等縮減推進会議」では、教育委員会や学校における「取組方策」に基づく取組が効果的に実施されているか把握し、検証等を行います。

（具体的な取組）

- ▼ 管理職向けマネジメント研修の充実
- ▼ 定時退勤日等の徹底
- ▼ 公立学校校務システムの構築（H24～運用）
- ▼ 部活動指導の実施体制に係る校長会と中体連等との申し合わせ事項の周知
- ▼ 部活動の効果的な指導のあり方に関する調査研究
- ▼ 学校だけでは対応できない保護者等からの要望に対し、弁護士による法律相談を活用した対応策に関する調査研究
- ▼ 保護者等対応のポイントを掲載した資料の作成・配布
- ▼ モデル校を指定し、実効性のある取組を全道に普及 など



子どもと向き合う時間を確保するために

「教育職員の時間外勤務等に向けた取組方策」 に関するアンケート結果について

アンケートの趣旨・概要

北海道教育委員会では、平成21年8月に「教育職員の時間外勤務等の縮減に向けた取組方策」を策定し、具体の取組を進めているところであるが、その効果等を検証し、より実効性のある取組を推進するため、すべての公立学校等を対象にアンケートを実施した。

【アンケート対象】

- 市町村教育委員会
- 市町村立学校（小学校・中学校）、道立学校（高等学校・特別支援学校）

【アンケートの内容】

- 「取組方策」の「市町村教育委員会（学校）が取り組む事項」で例示した個々の取組項目について、その取組状況を回答する。

（選択肢）

- ア 既に取り組んでいる。
 - イ 今後、取り組む予定又は検討中
 - ウ 取り組む予定はない。
- 「ア 既に取り組んでいる。」とした市町村教育委員会（学校）については、その取組の効果について回答する。

（選択肢）

- ア とても効果があった
- イ わりと効果があった。
- ウ あまり効果がなかった。
- エ 効果はなかった。

【アンケートの項目～市町村教育委員会が取り組む事項】

（１）学校等の事務処理体制の改善

- ①教育委員会と学校の業務分担の見直しや業務の共同処理化
- ②教員１人１パソコンの整備
- ③校内ＬＡＮの整備

（２）調査等の業務の見直し

- ①市町村が行う各種調査の再点検や調査事務の整理・削減
- ②届出・報告事項の見直しや書類の簡素化
- ③他機関等から依頼される各種コンクールへの作品応募の審査等の参加・協力業務についての精選

（３）部活動指導の実施体制の検討

- ①学校が検討する部活動休止日や活動時間の設定などについて、地域や保護者の理解を求めたり、学校間の調整を行うなどによる支援

②国・道の事業や市町村の独自事業などによる、部活動の外部指導者の活用

③社会教育団体や PTA、地域ボランティア等の活用

(4) 保護者・地域への対応

①学校に対する多様な要望・苦情のうち、学校での対応が困難なものについての協力・支援

②要望・苦情等に対応するための専門家の活用

③地域の祭りなど、地域や他の機関が主催する行事等への参加・協力についての精選

④学校の情報について、地域住民への周知

(5) 学校支援地域本部の活用

①学校支援ボランティアの活用

【アンケートの項目～学校が取り組む事項】

(1) 学校等の事務処理体制の改善

①業務が特定の職員に集中しないようにするための分掌や業務連携の工夫

②既存の校務処理用シートなどの積極的な活用による成績処理業務等の効率化

③ファイリングシステムの徹底や I C T 機器の活用による児童生徒の各種データ等の共有

④会議資料の事前配布や開始・終了時間厳守等による会議の効率化

⑤時間外勤務等縮減強調週間と定時退勤日の設定

(2) 調査等の業務の見直し

①他機関等から依頼される各種コンクールの審査等の参加・協力業務の精選

(3) 部活動指導の実施体制の検討について（中学校・高等学校対象）

①部活動休止日の設定や活動時間の工夫

②練習内容の見直しなど、効率的な指導方法の検討

③部活動顧問の複数化

④参加する大会の精選

⑤社会教育団体や PTA 等の活用

⑥部活動の外部指導者の活用

(4) 授業準備等の支援

①教材等の情報の共有化

②若手教員の授業準備の支援

(5) 保護者・地域への対応

①学校に対する多様な要望・苦情について、教職員が共通認識を持ち対応するような、校内での研修の実施

②地域の祭りなど、地域や他の機関が主催する行事等への参加・協力業務についての精選

③学校だより、学校ホームページ、学校説明会などによる、学校からの情報発信の充実

(6) 学校支援地域本部事業の活用について（小学校・中学校対象）

①地域による学校支援についての理解を深め、学校支援地域本部事業を活用

アンケート結果

1 市町村教育委員会が取り組む事項

(1) 学校等の事務処理体制の改善

- 地教委と学校の業務分担の見直しや業務の共同処理化を進め、学校を支援する。
 - ・施設の管理方法の見直し
 - ・学校単独では対応しきれない課題のサポート
 - ・市町村内の学校間連携による事務の効率化
- 国の補正予算を活用し、I C T 機器の整備を推進する。
 - ・教員1人1パソコンと校内 LAN の整備

【教育委員会と学校の業務分担の見直しや業務の共同処理化】

取組状況			取組の効果 (効果あり計 90.4%)			
実施済	実施予定	予定なし	とても効果あり	わりと効果あり	あまり効果なし	効果なし
52.8%	37.6%	9.6%	6.4%	84.0%	9.6%	0.0%

◆ 実施済は半数程度であるが、効果は高い。

〔実施できない理由等〕

- ・現状で教育委員会と学校の業務分担はうまくいっているので、見直す必要はない。

【教員1人1パソコンの整備】

取組状況			取組の効果 (効果あり計 94.2%)			
実施済	実施予定	予定なし	とても効果あり	わりと効果あり	あまり効果なし	効果なし
77.0%	18.0%	5.1%	46.7%	47.4%	5.1%	0.7%

【校内 LAN の整備】

取組状況			取組の効果 (効果あり計 95.0%)			
実施済	実施予定	予定なし	とても効果あり	わりと効果あり	あまり効果なし	効果なし
67.4%	21.3%	11.2%	42.5%	52.5%	5.0%	0.0%

◆ 実施済・効果ともに高い。

〔実施できない理由等〕

- ・指導用パソコンの更新を優先して整備しているが、それもままならない中で教師用パソコンの整備に取り組めない
- ・全職員分を整備することは、財政面から困難な状況である。

(2) 調査等の業務の見直し

- 市町村が行う各種調査の再点検を行い、調査事務を整理・削減する。
- 届出・報告事項等の見直しや書類の簡素化を図る。

- 他機関等から依頼される各種コンクールや行事への作品募集や審査等の参加・協力業務について精選を図るなど、対応の在り方を検討する。

【市町村が行う各種調査の再点検や調査事務の整理・削減】

取組状況			取組の効果（効果あり計 75.7%）			
実施済	実施予定	予定なし	とても効果あり	わりと効果あり	あまり効果なし	効果なし
57.9%	28.1%	14.0%	9.7%	66.0%	23.3%	1.0%

◆ 実施済は6割程度だが、効果は高い。

〔実施できない理由等〕

- ・ 調査は主に道や他機関のものが多く、町独自の調査は少ないことから見直す予定はない。
- ・ 道からの調査には調査日程に余裕がないものも多いので、日程の改善も必要である。

【届出・報告事項等の見直しや書類の簡素化】

取組状況			取組の効果（効果あり計 81.5%）			
実施済	実施予定	予定なし	とても効果あり	わりと効果あり	あまり効果なし	効果なし
60.7%	30.9%	8.4%	13.9%	67.6%	18.5%	0.0%

◆ 実施済は6割程度だが、効果は高い。

〔実施できない理由等〕

- ・ 市町村独自の規定や様式の見直しは、すでにやり尽くしている。

【他機関等から依頼される各種コンクールへの作品応募や審査等の協力業務の精選】

取組状況			取組の効果（効果あり計 79.0%）			
実施済	実施予定	予定なし	とても効果あり	わりと効果あり	あまり効果なし	効果なし
56.2%	28.1%	15.7%	7.0%	72.0%	21.0%	0.0%

◆ 実施済は6割程度だが、効果は高い。

〔実施できない理由等〕

- ・ 地域の団体からの要請等もあり、一律に精選できない。

(3) 部活動指導の実施体制の検討

- 学校が検討する部活動休止日や活動時間の設定などについて、地域や保護者の理解を求めたり、学校間の調整を行うなどにより実施を支援する。
- 国・道の事業や市町村の独自事業などにより、部活動の外部指導者の活用を図る。
- 社会教育団体やPTA等の活用などを検討する。
- 地域ボランティア等の活用を図る。

【部活動休止日について保護者の理解を求めたり、学校間の調整を行うなどの支援】

取組状況			取組の効果（効果あり計 85.4%）			
実施済	実施予定	予定なし	とても効果あり	わりと効果あり	あまり効果なし	効果なし
27.0%	48.9%	24.2%	8.3%	77.1%	14.6%	0.0%

◆ 実施済は3割程度だが、効果は高い。

〔実施できない理由等〕

- ・学校によって事情が異なるため、市町村教委での調整が難しい。
- ・学校の説明により地域・保護者の理解が得られているので、教育委員会として取り組む必要がない。

【部活動の外部指導者の活用】

取組状況			取組の効果 (効果あり計 83.8%)			
実施済	実施予定	予定なし	とても効果あり	わりと効果あり	あまり効果なし	効果なし
38.2%	38.2%	23.6%	32.4%	51.5%	16.2%	0.0%

◆ 実施済は4割程度だが、効果は高い。

〔実施できない理由等〕

- ・地方であり、外部指導者として対応できる人材がいない。
- ・市町村の財政負担が大きい。

【部活動における社会教育団体や PTA、地域ボランティア等の活用】

取組状況			取組の効果 (効果あり計 89.8%)			
実施済	実施予定	予定なし	とても効果あり	わりと効果あり	あまり効果なし	効果なし
66.3%	25.3%	8.4%	26.3%	63.6%	10.2%	0.0%

◆ 実施済は7割程度だが、効果は高い。

〔実施できない理由等〕

- ・部活動支援のための取組であり、時間外縮減が目的ではない。

(4) 保護者・地域への対応

- 学校に対する多様な要望・苦情のうち、学校での対応が困難なものについて、協力・支援する。
- 要望・苦情等に対応するための専門家の活用
- 地域の祭りや各種コンクールなど、地域や他の機関が主催する行事等への参加・協力について精選を図るなど、対応の在り方を検討する。
- 学校の情報について、地域住民に周知する機会を多くする。

【学校に対する多様な要望等のうち、学校での対応が困難なものに対する協力・支援】

取組状況			取組の効果 (効果あり計 92.0%)			
実施済	実施予定	予定なし	とても効果あり	わりと効果あり	あまり効果なし	効果なし
84.3%	12.4%	3.4%	22.7%	69.3%	8.0%	0.0%

◆ 実施済・効果ともに高い。

〔実施できない理由等〕

- ・教育委員会と学校が協力して問題解決に取り組んでいるが、学校が中心とならざるを得ない。

【要望・苦情等に対応するための専門家の活用】

取組状況			取組の効果（効果あり計 97.5%）			
実施済	実施予定	予定なし	とても効果あり	わりと効果あり	あまり効果なし	効果なし
22.5%	42.1%	35.4%	32.5%	65.0%	2.5%	0.0%

◆ 実施済は2割程度だが、効果は高い。

〔実施できない理由等〕

- ・保護者等からの要望・苦情等については、件数も少なく、現在のところ専門家に依頼する案件はない。
- ・職員が対応するのが通例であり、小規模自治体では、苦情対応の専門家を受け入れることは現実的でない。

【地域の祭りなど、地域や他の機関が主催する行事等への参加・協力についての精選】

取組状況			取組の効果（効果あり計 86.8%）			
実施済	実施予定	予定なし	とても効果あり	わりと効果あり	あまり効果なし	効果なし
51.1%	27.0%	21.9%	20.9%	65.9%	13.2%	0.0%

◆ 実施済は半数程度だが、効果は高い。

〔実施できない理由等〕

- ・地域行事等への参加は必要最小限のものとなっており、見直す必要がない。
- ・地域とのきずなを深める貴重な機会なので見直す予定はない。

【学校の情報についての地域住民への周知】

取組状況			取組の効果（効果あり計 86.2%）			
実施済	実施予定	予定なし	とても効果あり	わりと効果あり	あまり効果なし	効果なし
73.0%	23.0%	3.9%	28.5%	57.7%	13.1%	0.8%

◆ 実施済は7割程度だが、効果は高い。

〔実施できない理由等〕

- ・情報発信することが、時間外勤務の縮減にはつながらない。

(5) 学校支援地域本部の活用

○ 学校支援ボランティアを活用する。

- ・登下校時の通学路の安全指導、環境整備の支援、スキー学習の支援、学級農園づくりの支援、部活動の指導支援など

【学校支援ボランティアの活用】

取組状況			取組の効果（効果あり計 85.7%）			
実施済	実施予定	予定なし	とても効果あり	わりと効果あり	あまり効果なし	効果なし
86.5%	12.4%	1.1%	31.2%	54.5%	14.3%	0.0%

◆ 実施済・効果ともに高い。

2 学校が取り組む事項

(1) 学校等の事務処理体制の改善

- 教職員間の業務連携、校務分掌の見直し、情報・教材の共有化、会議の効率化、業務分担の平準化など校内の業務改善を進める。
 - ・業務が特定の職員に集中しないようにするための分掌や業務連携の工夫
 - ・既存の校務処理用シートなどの積極的な活用による成績処理業務等の効率化
 - ・ファイリングシステムの徹底やICT機器の活用による児童生徒の各種データ等の共有
 - ・会議資料の事前配布や開始・終了時間厳守等による会議の効率化
- 時間外縮減のための全道的取組である「時間外勤務等縮減強調週間」と「定時退勤日」の取組を強化する。
 - ・「時間外勤務等縮減強調週間」については、全学校100%実施(年2回)
 - ・「定時退勤日」については、学校毎の実施回数の増(月1回以上→月2回以上)

【業務が特定の職員に集中しないようにするための分掌や業務連携の工夫】

取組状況			取組の効果 (効果あり計 83.1%)			
実施済	実施予定	予定なし	とても効果あり	わりと効果あり	あまり効果なし	効果なし
93.6%	6.1%	0.2%	10.2%	72.9%	16.4%	0.5%

◆ 実施済・効果ともに高い。

〔実施できない理由等〕

- ・恒常的に取り組んでいるが、できることはやり尽くしており、学校の努力だけではこれ以上の効果は望めない。
- ・業務の均等化に努めているが、それぞれの職員の年齢、特性、力量が大きく違うため、実際には難しい。

【既存の校務処理用シートなどの積極的な活用による成績処理業務等の効率化】

取組状況			取組の効果 (効果あり計 92.3%)			
実施済	実施予定	予定なし	とても効果あり	わりと効果あり	あまり効果なし	効果なし
51.9%	37.7%	10.4%	26.1%	66.2%	7.4%	0.3%

◆ 実施済は5割程度だが、効果は高い。

〔実施できない理由等〕

- ・既存の校務処理用シートとはどのようなものか判らなかったが、負担軽減に効果があるのであれば活用を検討したい。

【ファイリングシステムの徹底やICT機器の活用による児童生徒の各種データ等の共有】

取組状況			取組の効果 (効果あり計 93.4%)			
実施済	実施予定	予定なし	とても効果あり	わりと効果あり	あまり効果なし	効果なし
72.4%	23.4%	4.2%	31.4%	61.9%	6.2%	0.4%

◆ 実施済・効果ともに高い。

〔実施できない理由等〕

- ・ ICT 機器の整備が遅れており、業務の効率化を図るまでには至っていない。

【会議資料の事前配布や開始・終了時間厳守等による会議の効率化】

取組状況			取組の効果 (効果あり計 91.2%)			
実施済	実施予定	予定なし	とても効果あり	わりと効果あり	あまり効果なし	効果なし
97.1%	2.9%	0.1%	29.4%	61.8%	8.6%	0.1%

◆ 実施済・効果ともに高い。

【時間外勤務等縮減強調週間と定時退勤日の設定】

取組状況			取組の効果 (効果あり計 74.7%)			
実施済	実施予定	予定なし	とても効果あり	わりと効果あり	あまり効果なし	効果なし
96.4%	2.9%	0.6%	13.6%	61.0%	24.3%	1.0%

◆ 実施済・効果ともに高い。

〔実施できない理由等〕

- ・ 定時退勤日を設定しても業務量が減るわけではなく、別の日の負担が増えるだけなので効果はない。

(2) 調査等の業務の見直し

他機関等から依頼される各種コンクールや行事への作品応募や審査等の参加・協力業務を精選する。

【他機関等から依頼される各種コンクールの審査等の参加・協力業務の精選】

取組状況			取組の効果 (効果あり計 81.2%)			
実施済	実施予定	予定なし	とても効果あり	わりと効果あり	あまり効果なし	効果なし
64.6%	25.3%	10.0%	16.0%	65.2%	17.7%	1.2%

◆ 実施済は6割程度だが、効果は高い。

〔実施できない理由等〕

- ・ はじめから学校が協力することを前提に計画されているものもあり、学校単独で精選をすることは難しい。

(3) 部活動の実施体制の検討

- 部活動休止日や活動時間の設定などを検討する。
- 練習内容の見直しや顧問の複数化など、効率的な指導方法を検討する。
- 参加する大会の精選を図る。
- 社会教育団体やPTA等の活用などを検討する。
- 子どもの体力向上推進事業や学校支援地域本部事業、市町村独自の事業などにより、部活動の外部指導者の活用を図る〔市町村立学校に限る〕。

※ アンケートは、中学校・高等学校を対象として実施

【部活動休止日の設定や活動時間の工夫】

取組状況			取組の効果 (効果あり計 82.8%)			
実施済	実施予定	予定なし	とても効果あり	わりと効果あり	あまり効果なし	効果なし
81.9%	14.0%	4.1%	21.0%	61.7%	16.6%	0.6%

◆ 実施済・効果ともに高い。

〔実施できない理由等〕

- ・保護者・生徒の意向があるため、画一的に扱うことは難しい。

【練習内容の見直しなど、効率的な指導方法の検討】

取組状況			取組の効果 (効果あり計 82.3%)			
実施済	実施予定	予定なし	とても効果あり	わりと効果あり	あまり効果なし	効果なし
64.3%	28.3%	7.4%	15.5%	66.7%	17.3%	0.4%

◆ 実施済は6割程度だが、効果は高い。

〔実施できない理由等〕

- ・効果的な指導方法の検討は恒常的に行っているが、時間外縮減には繋がらない。

【部活動顧問の複数化】

取組状況			取組の効果 (効果あり計 82.1%)			
実施済	実施予定	予定なし	とても効果あり	わりと効果あり	あまり効果なし	効果なし
94.9%	2.8%	2.3%	24.6%	57.5%	15.9%	2.0%

◆ 実施済・効果ともに高い。

〔実施できない理由等〕

- ・生徒や保護者のニーズに応じて部活動数を決めているが、教員数よりも部活動数が多いため、複数顧問を置くことが困難。
- ・顧問を複数化しても、専門の職員が中心になって指導せざるを得ないので、時間外勤務縮減の効果はあまりない。

【参加する大会の精選】

取組状況			取組の効果 (効果あり計 78.7%)			
実施済	実施予定	予定なし	とても効果あり	わりと効果あり	あまり効果なし	効果なし
54.0%	32.7%	13.3%	18.7%	60.0%	20.4%	0.9%

◆ 実施済は半数程度だが、効果は高い。

〔実施できない理由等〕

- ・生徒や保護者の要望が強く、保護者との信頼関係の構築のために大会の参加が不可欠である。
- ・大会に参加することが生徒の励みになっているので、見直す予定はない。
- ・次の大会のシードや全道大会に関わるが多く、精選は難しい。

【社会教育団体やPTA等の活用】

取組状況			取組の効果（効果あり計 81.5%）			
実施済	実施予定	予定なし	とても効果あり	わりと効果あり	あまり効果なし	効果なし
33.9%	41.6%	24.5%	22.3%	59.2%	17.0%	1.5%

◆ 実施済は3割程度だが、効果は高い。

〔実施できない理由等〕

- ・教員の時間外縮減のためにPTA等を活用することは、地域・保護者の理解を得にくい。
- ・学校管理下の練習では教職員の監督が不可欠なので、負担軽減には繋がらない。

【部活動の外部指導者の活用】

取組状況			取組の効果（実施計 73.6%）			
実施済	実施予定	予定なし	とても効果あり	わりと効果あり	あまり効果なし	効果なし
54.4%	21.1%	24.5%	24.7%	48.9%	21.2%	5.2%

◆ 実施済は半数程度だが、効果は高い。

〔実施できない理由等〕

- ・外部指導者の活用は、競技力の向上など技術的な面での効果は大きいですが、外部指導者に丸投げして他の業務を行うわけにいかず、また、外部指導者との連絡調整にも時間を使うので、時間外勤務縮減という観点からの効果は少ない。
- ・市街地から遠く学校に来るまで時間がかかるため、継続して指導してもらえる外部指導者の確保が困難。
- ・高等学校の体育系の部活動では、専門的人材を確保することが大変困難。

(4)授業準備等への支援

教材等の情報の共有を図るとともに、若手教員の授業準備の支援を行う。

【教材等の情報の共有化】

取組状況			取組の効果（効果あり計 91.4%）			
実施済	実施予定	予定なし	とても効果あり	わりと効果あり	あまり効果なし	効果なし
64.6%	30.6%	4.8%	18.9%	72.5%	8.3%	0.3%

◆ 実施済は6割程度だが、効果は高い。

〔実施できない理由等〕

- ・日常的に情報交換しており、また、教材等の保管場所も決められているので、改めて情報の共有化に取り組む必要がない。

【若手教員の授業準備の支援】

取組状況			取組の効果（効果あり計 89.7%）			
実施済	実施予定	予定なし	とても効果あり	わりと効果あり	あまり効果なし	効果なし
46.1%	39.2%	14.7%	22.4%	67.3%	10.0%	0.2%

◆ 実施済は半数程度だが、効果は高い。

〔実施できない理由等〕

- ・研修としての意味は大きいですが、指導を受けたり、打ち合わせる時間を考えると、時間外勤務縮減には結びつかない。

(5) 保護者・地域への対応

- 学校に対する多様な要望・苦情については、教職員が共通認識を持ち対応するよう、校内で研修を実施する。
- 地域の祭りや各種コンクールなど、地域や他の機関が主催する行事等への参加・協力業務について精選を図るなど、対応の在り方を検討する。
- 学校だより、学校ホームページ、学校説明会などにより、学校からの情報発信の充実を図る。

【多様な要望・苦情についての校内研修の実施】

取組状況			取組の効果（効果あり計 89.1%）			
実施済	実施予定	予定なし	とても効果あり	わりと効果あり	あまり効果なし	効果なし
66.6%	29.5%	3.9%	26.9%	62.1%	9.8%	1.1%

- ◆ 実施済は7割程度だが、効果は高い。

〔実施できない理由等〕

- ・日常的に地域や保護者と意思疎通を図っているため、改めて研修等を行う必要はない。

【地域の祭りなど、地域や他の機関が主催する行事等への参加・協力業務の精選】

取組状況			取組の効果（効果あり計 84.0%）			
実施済	実施予定	予定なし	とても効果あり	わりと効果あり	あまり効果なし	効果なし
56.2%	27.4%	16.3%	23.4%	60.6%	15.4%	0.6%

- ◆ 実施済は6割程度だが、効果は高い。

〔実施できない理由等〕

- ・学校行事など様々な場面において地域の方々に協力していただいているため、地域主催の行事には学校も最大限、参加・協力している。
- ・地域との連携を深め、学校運営を円滑に行うため、むしろ積極的に地域の行事に参加している。

【学校だより、学校ホームページ、学校説明会などによる、学校からの情報発信の充実】

取組状況			取組の効果（効果あり計 84.5%）			
実施済	実施予定	予定なし	とても効果あり	わりと効果あり	あまり効果なし	効果なし
94.2%	5.0%	0.8%	27.7%	56.9%	13.1%	2.3%

- ◆ 実施済・効果ともに高い。

〔実施できない理由等〕

- ・学校からの情報発信は、地域との信頼・連携の向上には役立つが、時間外勤務縮減には繋がらない。
- ・各種情報発信に取り組むほど業務量は増えるため、時間外勤務の縮減にはならない。

(5) 学校支援地域本部事業の活用

地域による学校支援について理解を深め、学校支援地域本部事業の活用を検討する
〔市町村立学校に限る〕。

※ アンケート結果は、小学校・中学校が対象

【地域による学校支援についての理解を深め、学校支援地域本部事業を活用】

取組状況			取組の効果 (効果あり計 83.7%)			
実施済	実施予定	予定なし	とても効果あり	わりと効果あり	あまり効果なし	効果なし
50.2%	38.6%	11.2%	32.2%	51.5%	14.8%	1.5%

◆ 実施済は半数程度だが、効果は高い。

〔実施できない理由等〕

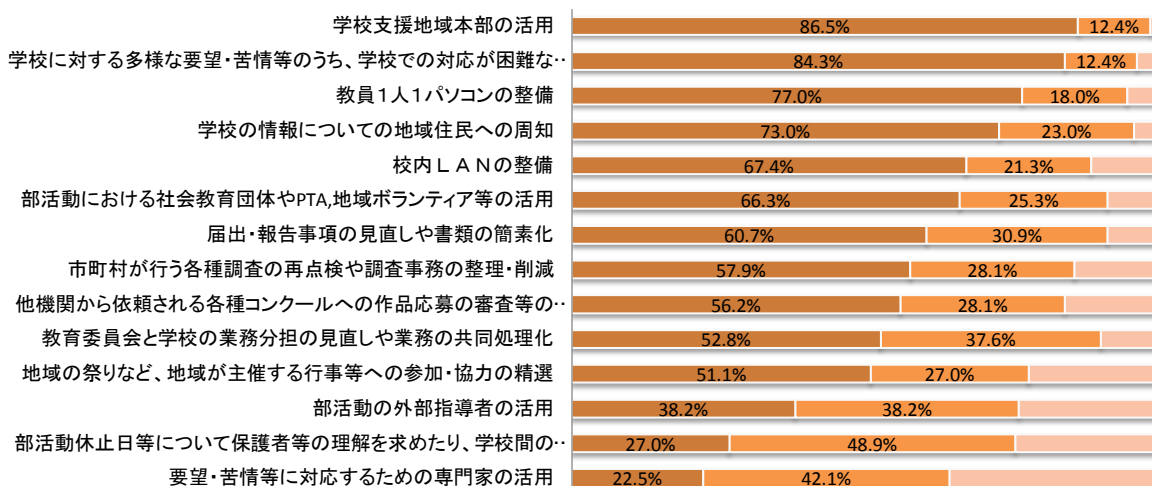
- ・学校支援ボランティアについては、地域人材バンクなどを整備・更新し、活用しやすくして欲しい。
- ・学校運営には役立っているが、打ち合わせや事前準備に時間を要するため、時間外勤務の縮減には繋がらない。

アンケート集計表(市町村教委)

取組項目	取組状況			取組の効果				
	実施済	実施予定	予定なし	効果有り			あまり効果なし	効果なし
				とても効果有り	わりと効果有り	(小計)		
教育委員会と学校の業務分担の見直しや業務の共同処理化	52.8%	37.6%	9.6%	6.4%	84.0%	(90.4%)	9.6%	0.0%
教員1人1パソコンの整備	77.0%	18.0%	5.1%	46.7%	47.4%	(94.2%)	5.1%	0.7%
校内LANの整備	67.4%	21.3%	11.2%	42.5%	52.5%	(95.0%)	5.0%	0.0%
市町村が行う各種調査の再点検や調査事務の整理・削減	57.9%	28.1%	14.0%	9.7%	66.0%	(75.7%)	23.3%	1.0%
届出・報告事項の見直しや書類の簡素化	60.7%	30.9%	8.4%	13.9%	67.6%	(81.5%)	18.5%	0.0%
他機関から依頼される各種コンクールへの作品応募の審査等の協力業務の精選	56.2%	28.1%	15.7%	7.0%	72.0%	(79.0%)	21.0%	0.0%
部活動休止日等について保護者等の理解を求めたり、学校間の調整を行うなどの支援	27.0%	48.9%	24.2%	8.3%	77.1%	(85.4%)	14.6%	0.0%
部活動の外部指導者の活用	38.2%	38.2%	23.6%	32.4%	51.5%	(83.8%)	16.2%	0.0%
部活動における社会教育団体やPTA,地域ボランティア等の活用	66.3%	25.3%	8.4%	26.3%	63.6%	(89.8%)	10.2%	0.0%
学校に対する多様な要望・苦情等のうち、学校での対応が困難なものの協力・支援	84.3%	12.4%	3.4%	22.7%	69.3%	(92.0%)	8.0%	0.0%
要望・苦情等に対応するための専門家の活用	22.5%	42.1%	35.4%	32.5%	65.0%	(97.5%)	2.5%	0.0%
地域の祭りなど、地域が主催する行事等への参加・協力の精選	51.1%	27.0%	21.9%	20.9%	65.9%	(86.8%)	13.2%	0.0%
学校の情報についての地域住民への周知	73.0%	23.0%	3.9%	28.5%	57.7%	(86.2%)	13.1%	0.8%
学校支援地域本部の活用	86.5%	12.4%	1.1%	31.2%	54.5%	(85.7%)	14.3%	0.0%

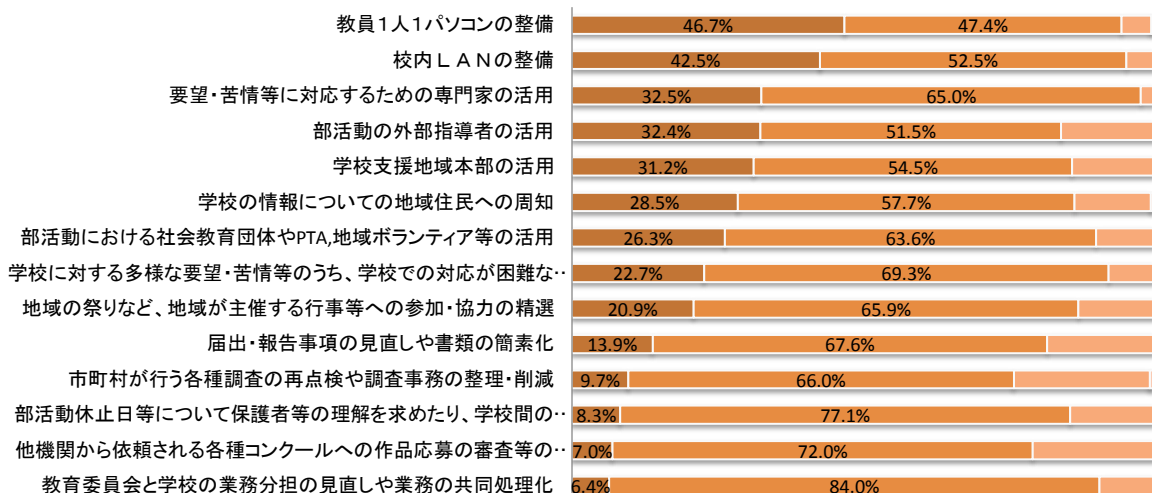
取組項目毎の実施状況(市町村教委)

■ 実施済 ■ 実施予定 ■ 予定なし



取組項目毎の効果(市町村教委)

■ とても効果有り ■ わりと効果有り ■ あまり効果なし ■ 効果なし

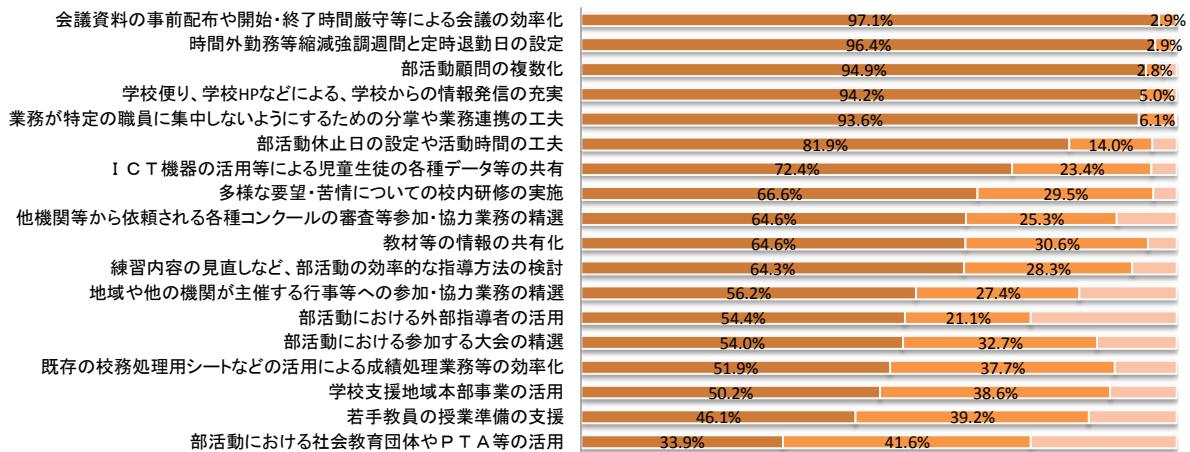


アンケート集計表(全校種計)

取組項目	取組状況			取組の効果				
	実施済	実施予定	予定なし	効果有り			あまり効果なし	効果なし
				とても効果有り	わりと効果有り	(小計)		
業務が特定の職員に集中しないようにするための分掌や業務連携の工夫	93.6%	6.1%	0.2%	10.2%	72.9%	(83.1%)	16.4%	0.5%
既存の校務処理用シートなどの活用による成績処理業務等の効率化	51.9%	37.7%	10.4%	26.1%	66.2%	(92.3%)	7.4%	0.3%
ICT機器の活用等による児童生徒の各種データ等の共有	72.4%	23.4%	4.2%	31.4%	61.9%	(93.4%)	6.2%	0.4%
会議資料の事前配布や開始・終了時間厳守等による会議の効率化	97.1%	2.9%	0.1%	29.4%	61.8%	(91.2%)	8.6%	0.1%
時間外勤務等縮減強調週間と定時退勤日の設定	96.4%	2.9%	0.6%	13.6%	61.0%	(74.7%)	24.3%	1.0%
他機関等から依頼される各種コンクールの審査等参加・協力業務の精選	64.6%	25.3%	10.0%	16.0%	65.2%	(81.2%)	17.7%	1.2%
部活動休止日の設定や活動時間の工夫	81.9%	14.0%	4.1%	21.1%	61.7%	(82.8%)	16.6%	0.6%
練習内容の見直しなど、部活動の効率的な指導方法の検討	64.3%	28.3%	7.4%	15.5%	66.7%	(82.3%)	17.3%	0.4%
部活動顧問の複数化	94.9%	2.8%	2.3%	24.6%	57.5%	(82.1%)	15.9%	2.0%
部活動における参加する大会の精選	54.0%	32.7%	13.3%	18.7%	60.0%	(78.7%)	20.4%	0.9%
部活動における社会教育団体やPTA等の活用	33.9%	41.6%	24.5%	22.3%	59.2%	(81.5%)	17.0%	1.5%
部活動における外部指導者の活用	54.4%	21.1%	24.5%	24.7%	48.9%	(73.6%)	21.2%	5.2%
教材等の情報の共有化	64.6%	30.6%	4.8%	18.9%	72.5%	(91.4%)	8.3%	0.3%
若手教員の授業準備の支援	46.1%	39.2%	14.7%	22.4%	67.3%	(89.7%)	10.0%	0.2%
多様な要望・苦情についての校内研修の実施	66.6%	29.5%	3.9%	26.9%	62.1%	(89.1%)	9.8%	1.1%
地域や他の機関が主催する行事等への参加・協力業務の精選	56.2%	27.4%	16.3%	23.4%	60.6%	(84.0%)	15.4%	0.6%
学校便り、学校HPなどによる、学校からの情報発信の充実	94.2%	5.0%	0.8%	27.7%	56.9%	(84.5%)	13.1%	2.3%
学校支援地域本部事業の活用	50.2%	38.6%	11.2%	32.2%	51.5%	(83.7%)	14.8%	1.5%

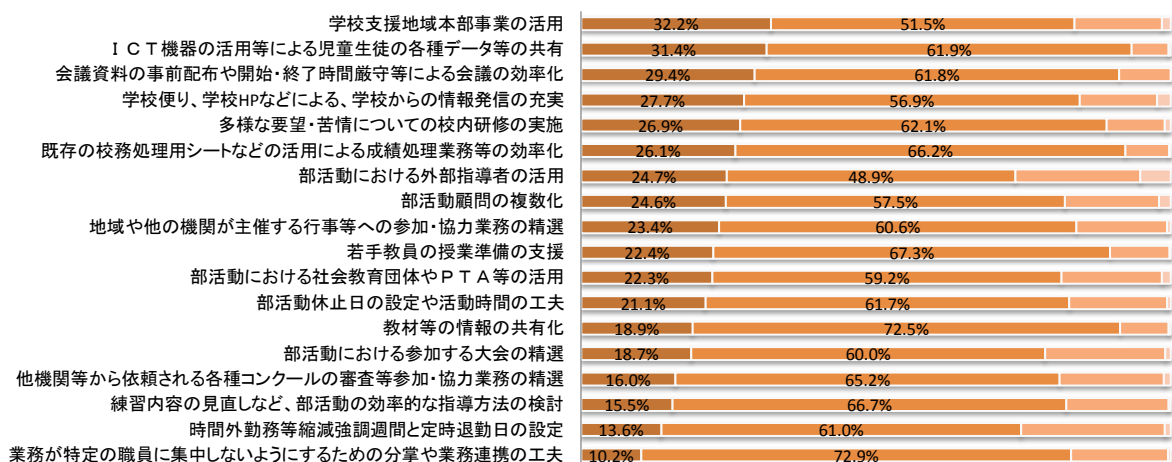
取組項目毎の実施状況(全校種計)

■ 実施済 ■ 実施予定 ■ 予定なし



取組項目毎の効果(全校種計)

■ とても効果有り ■ わりと効果有り ■ あまり効果なし ■ 効果なし

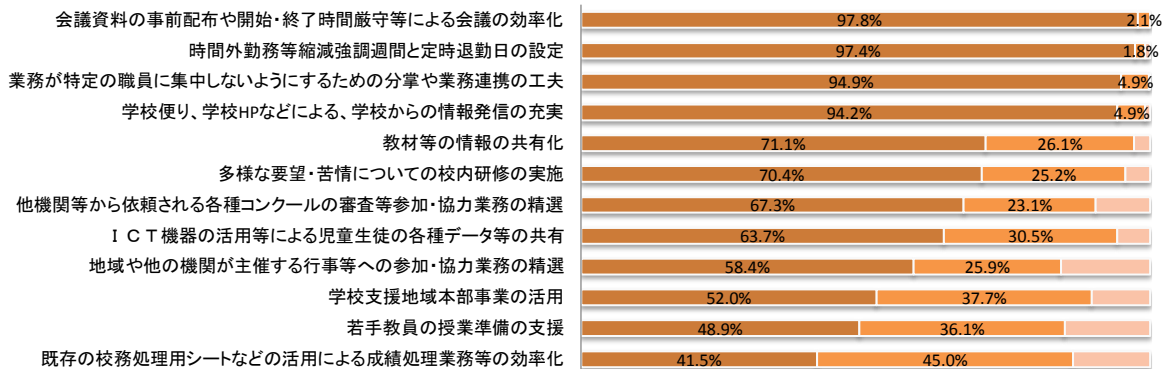


アンケート集計表(小学校)

取組項目	取組状況			取組の効果				
	実施済	実施予定	予定なし	とても効果有り	わりと効果有り	(小計)	あまり効果なし	効果なし
業務が特定の職員に集中しないようにするための分掌や業務連携の工夫	94.9%	4.9%	0.2%	10.8%	72.8%	(83.7%)	15.6%	0.7%
既存の校務処理用シートなどの活用による成績処理業務等の効率化	41.5%	45.0%	13.5%	22.9%	70.0%	(92.9%)	6.9%	0.2%
ICT機器の活用等による児童生徒の各種データ等の共有	63.7%	30.5%	5.8%	29.2%	64.3%	(93.5%)	6.2%	0.3%
会議資料の事前配布や開始・終了時間厳守等による会議の効率化	97.8%	2.1%	0.1%	28.4%	62.3%	(90.7%)	9.2%	0.1%
時間外勤務等縮減強調週間と定時退勤日の設定	97.4%	1.8%	0.9%	14.6%	61.7%	(76.3%)	22.7%	1.0%
他機関等から依頼される各種コンクールの審査等参加・協力業務の精選	67.3%	23.1%	9.6%	18.1%	66.9%	(85.0%)	14.3%	0.7%
教材等の情報の共有化	71.1%	26.1%	2.8%	21.4%	71.6%	(93.0%)	6.9%	0.1%
若手教員の授業準備の支援	48.9%	36.1%	15.0%	24.2%	66.3%	(90.6%)	9.4%	0.0%
多様な要望・苦情についての校内研修の実施	70.4%	25.2%	4.3%	30.8%	58.6%	(89.4%)	10.0%	0.4%
地域や他の機関が主催する行事等への参加・協力業務の精選	58.4%	25.9%	15.7%	24.3%	60.9%	(85.2%)	14.1%	0.7%
学校便り、学校HPなどによる、学校からの情報発信の充実	94.2%	4.9%	0.9%	27.5%	57.1%	(84.6%)	13.6%	1.7%
学校支援地域本部事業の活用	52.0%	37.7%	10.3%	34.3%	51.5%	(85.8%)	12.6%	1.5%

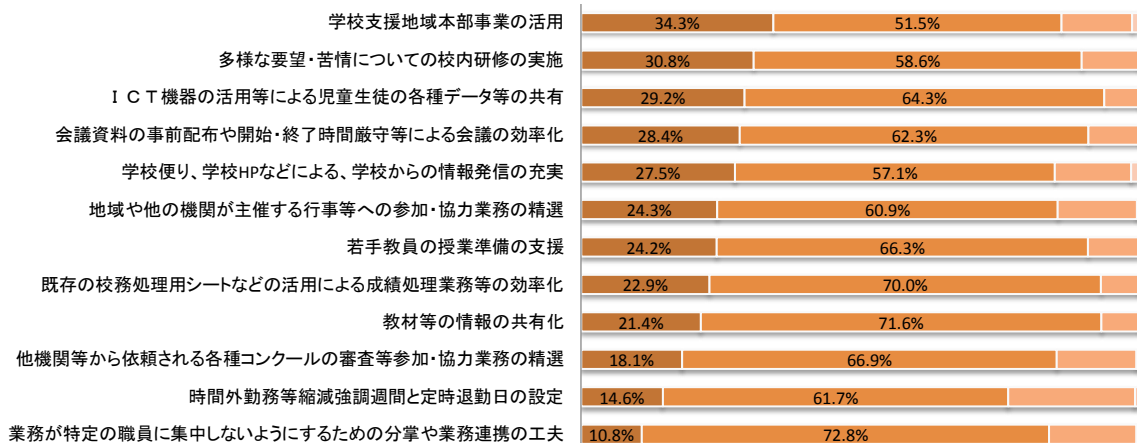
取組項目毎の実施状況(小学校)

■ 実施済 ■ 実施予定 ■ 予定なし



取組項目毎の効果(小学校)

■ とても効果有り ■ わりと効果有り ■ あまり効果なし ■ 効果なし

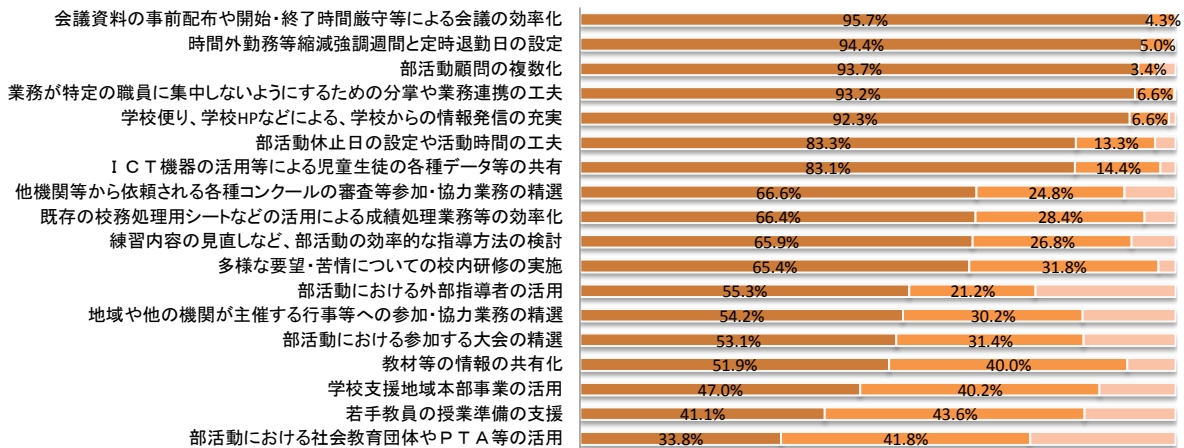


アンケート集計表(中学校)

取組項目	取組状況			取組の効果				
	実施済	実施予定	予定なし	効果有り			あまり効果なし	効果なし
				とても効果有り	わりと効果有り	(小計)		
業務が特定の職員に集中しないようにするための分掌や業務連携の工夫	93.2%	6.6%	0.2%	9.6%	72.3%	(81.9%)	17.9%	0.2%
既存の校務処理用シートなどの活用による成績処理業務等の効率化	66.4%	28.4%	5.2%	29.5%	62.2%	(91.6%)	7.8%	0.5%
ICT機器の活用等による児童生徒の各種データ等の共有	83.1%	14.4%	2.5%	34.1%	58.5%	(92.7%)	6.9%	0.4%
会議資料の事前配布や開始・終了時間厳守等による会議の効率化	95.7%	4.3%	0.0%	29.3%	61.4%	(90.6%)	9.2%	0.2%
時間外勤務等縮減強調週間と定時退勤日の設定	94.4%	5.0%	0.5%	13.3%	58.0%	(71.3%)	27.6%	1.1%
他機関等から依頼される各種コンクールの審査等参加・協力業務の精選	66.6%	24.8%	8.6%	14.3%	61.2%	(75.5%)	22.1%	2.4%
部活動休止日の設定や活動時間の工夫	83.3%	13.3%	3.4%	23.1%	59.1%	(82.1%)	17.0%	0.9%
練習内容の見直しなど、部活動の効率的な指導方法の検討	65.9%	26.8%	7.4%	17.7%	62.4%	(80.1%)	19.3%	0.5%
部活動顧問の複数化	93.7%	3.4%	2.9%	27.4%	54.8%	(82.2%)	15.9%	1.9%
部活動における参加する大会の精選	53.1%	31.4%	15.4%	20.6%	58.8%	(79.4%)	19.3%	1.4%
部活動における社会教育団体やPTA等の活用	33.8%	41.8%	24.4%	23.9%	54.8%	(78.7%)	19.1%	2.1%
部活動における外部指導者の活用	55.3%	21.2%	23.5%	21.8%	48.7%	(70.5%)	23.7%	5.8%
教材等の情報の共有化	51.9%	40.0%	8.1%	16.3%	72.7%	(88.9%)	10.4%	0.7%
若手教員の授業準備の支援	41.1%	43.6%	15.3%	20.1%	65.1%	(85.2%)	14.0%	0.9%
多様な要望・苦情についての校内研修の実施	65.4%	31.8%	2.9%	22.5%	65.9%	(88.5%)	9.3%	2.2%
地域や他の機関が主催する行事等への参加・協力業務の精選	54.2%	30.2%	15.6%	21.9%	59.9%	(81.8%)	17.5%	0.7%
学校便り、学校HPなどによる、学校からの情報発信の充実	92.3%	6.6%	1.1%	24.9%	58.2%	(83.1%)	13.2%	3.7%
学校支援地域本部事業の活用	47.0%	40.2%	12.7%	27.9%	51.5%	(79.4%)	19.1%	1.5%

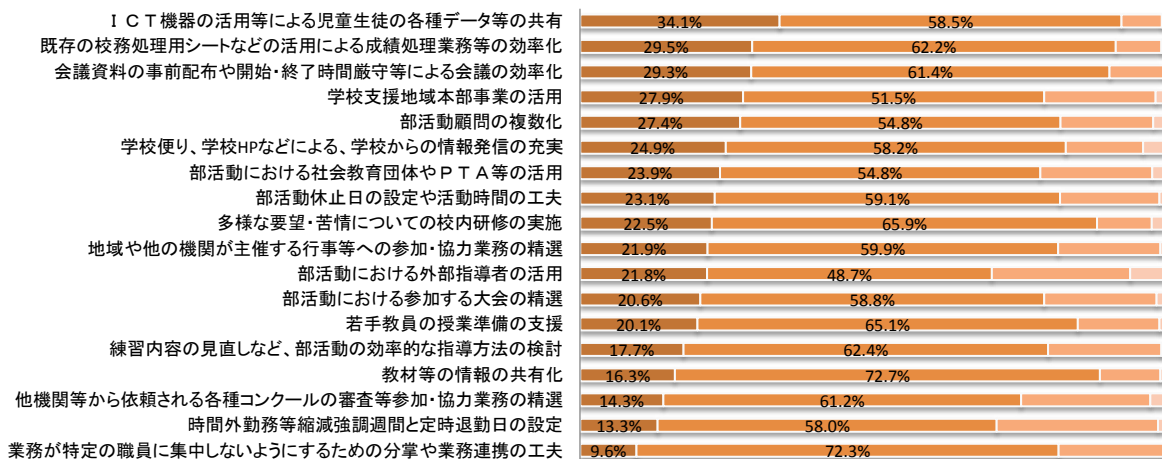
取組項目毎の実施状況(中学校)

■ 実施済 ■ 実施予定 ■ 予定なし



取組項目毎の効果(中学校)

■ とても効果有り ■ わりと効果有り ■ あまり効果なし ■ 効果なし

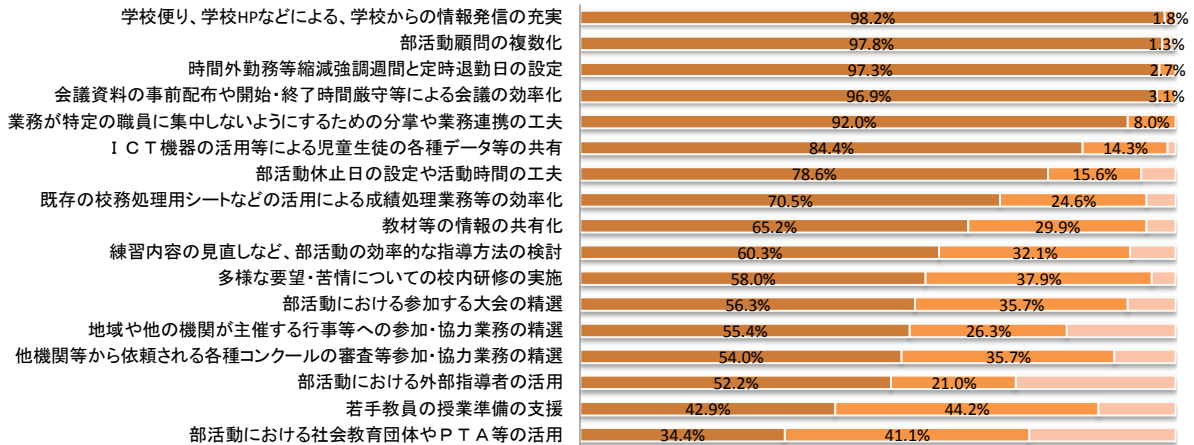


アンケート集計表(高等学校)

取組項目	取組状況			取組の効果				
	実施済	実施予定	予定なし	とても効果有り	わりと効果有り	(小計)	あまり効果なし	効果なし
業務が特定の職員に集中しないようにするための分掌や業務連携の工夫	92.0%	8.0%	0.0%	8.3%	74.3%	(82.5%)	17.5%	0.0%
既存の校務処理用シートなどの活用による成績処理業務等の効率化	70.5%	24.6%	4.9%	25.9%	66.5%	(92.4%)	7.6%	0.0%
ICT機器の活用等による児童生徒の各種データ等の共有	84.4%	14.3%	1.3%	32.3%	60.8%	(93.1%)	6.3%	0.5%
会議資料の事前配布や開始・終了時間厳守等による会議の効率化	96.9%	3.1%	0.0%	32.3%	63.1%	(95.4%)	4.6%	0.0%
時間外勤務等縮減強調週間と定時退勤日の設定	97.3%	2.7%	0.0%	8.7%	65.1%	(73.9%)	25.2%	0.9%
他機関等から依頼される各種コンクールの審査等参加・協力業務の精選	54.0%	35.7%	10.3%	9.9%	66.1%	(76.0%)	24.0%	0.0%
部活動休止日の設定や活動時間の工夫	78.6%	15.6%	5.8%	15.9%	68.8%	(84.7%)	15.3%	0.0%
練習内容の見直しなど、部活動の効率的な指導方法の検討	60.3%	32.1%	7.6%	9.6%	78.5%	(88.1%)	11.9%	0.0%
部活動顧問の複数化	97.8%	1.3%	0.9%	17.8%	63.9%	(81.7%)	16.0%	2.3%
部活動における参加する大会の精選	56.3%	35.7%	8.0%	14.3%	62.7%	(77.0%)	23.0%	0.0%
部活動における社会教育団体やPTA等の活用	34.4%	41.1%	24.6%	18.2%	70.1%	(88.3%)	11.7%	0.0%
部活動における外部指導者の活用	52.2%	21.0%	26.8%	32.5%	49.6%	(82.1%)	14.5%	3.4%
教材等の情報の共有化	65.2%	29.9%	4.9%	15.1%	75.3%	(90.4%)	8.9%	0.7%
若手教員の授業準備の支援	42.9%	44.2%	12.9%	19.8%	76.0%	(95.8%)	4.2%	0.0%
多様な要望・苦情についての校内研修の実施	58.0%	37.9%	4.0%	18.5%	70.0%	(88.5%)	10.0%	1.5%
地域や他の機関が主催する行事等への参加・協力業務の精選	55.4%	26.3%	18.3%	23.4%	59.7%	(83.1%)	16.9%	0.0%
学校便り、学校HPなどによる、学校からの情報発信の充実	98.2%	1.8%	0.0%	33.6%	53.2%	(86.8%)	10.9%	2.3%

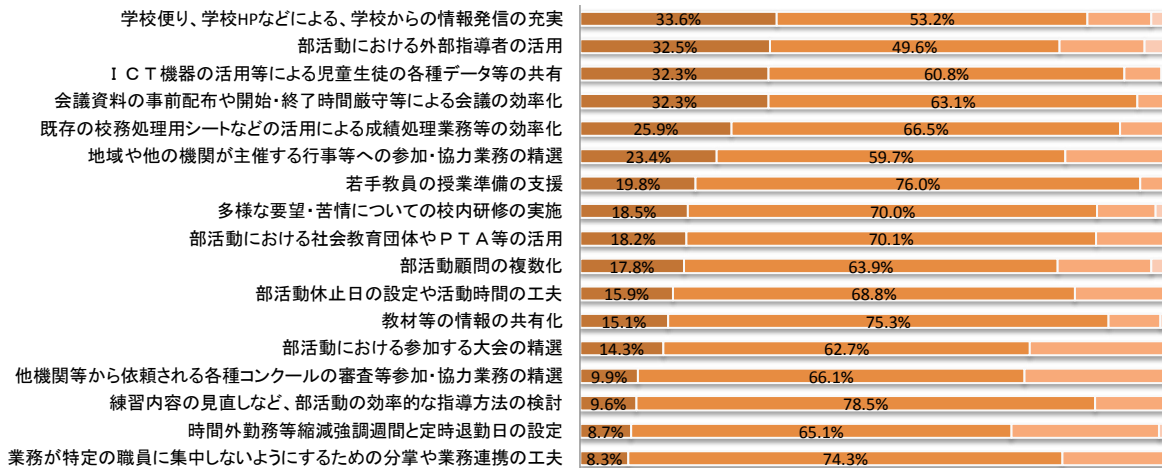
取組項目毎の実施状況(高等学校)

■ 実施済 ■ 実施予定 ■ 予定なし



取組項目毎の効果(高等学校)

■ とても効果有り ■ わりと効果有り ■ あまり効果なし ■ 効果なし

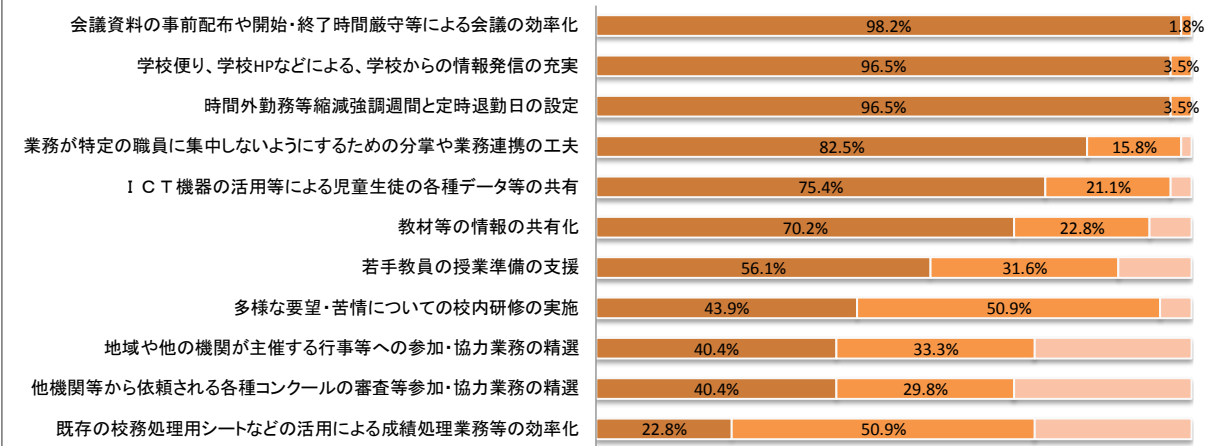


アンケート集計表(特別支援学校)

取組項目	取組状況			取組の効果				
	実施済	実施予定	予定なし	効果有り			あまり 効果なし	効果なし
				とても 効果有り	わりと 効果有り	(小計)		
業務が特定の職員に集中しないようにするための分掌や業務連携の工夫	82.5%	15.8%	1.8%	12.8%	74.5%	(87.2%)	12.8%	0.0%
既存の校務処理用シートなどの活用による成績処理業務等の効率化	22.8%	50.9%	26.3%	38.5%	53.8%	(92.3%)	7.7%	0.0%
ICT機器の活用等による児童生徒の各種データ等の共有	75.4%	21.1%	3.5%	32.6%	67.4%	(100.0%)	0.0%	0.0%
会議資料の事前配布や開始・終了時間厳守等による会議の効率化	98.2%	1.8%	0.0%	39.3%	51.8%	(91.1%)	8.9%	0.0%
時間外勤務等縮減強調週間と定時退勤日の設定	96.5%	3.5%	0.0%	18.2%	61.8%	(80.0%)	20.0%	0.0%
他機関等から依頼される各種コンクールの審査等参加・協力業務の精選	40.4%	29.8%	29.8%	13.0%	73.9%	(87.0%)	13.0%	0.0%
教材等の情報の共有化	70.2%	22.8%	7.0%	7.5%	77.5%	(85.0%)	15.0%	0.0%
若手教員の授業準備の支援	56.1%	31.6%	12.3%	18.8%	71.9%	(90.6%)	9.4%	0.0%
多様な要望・苦情についての校内研修の実施	43.9%	50.9%	5.3%	24.0%	68.0%	(92.0%)	8.0%	0.0%
地域や他の機関が主催する行事等への参加・協力業務の精選	40.4%	33.3%	26.3%	21.7%	65.2%	(87.0%)	13.0%	0.0%
学校便り、学校HPなどによる、学校からの情報発信の充実	96.5%	3.5%	0.0%	32.7%	54.5%	(87.3%)	12.7%	0.0%

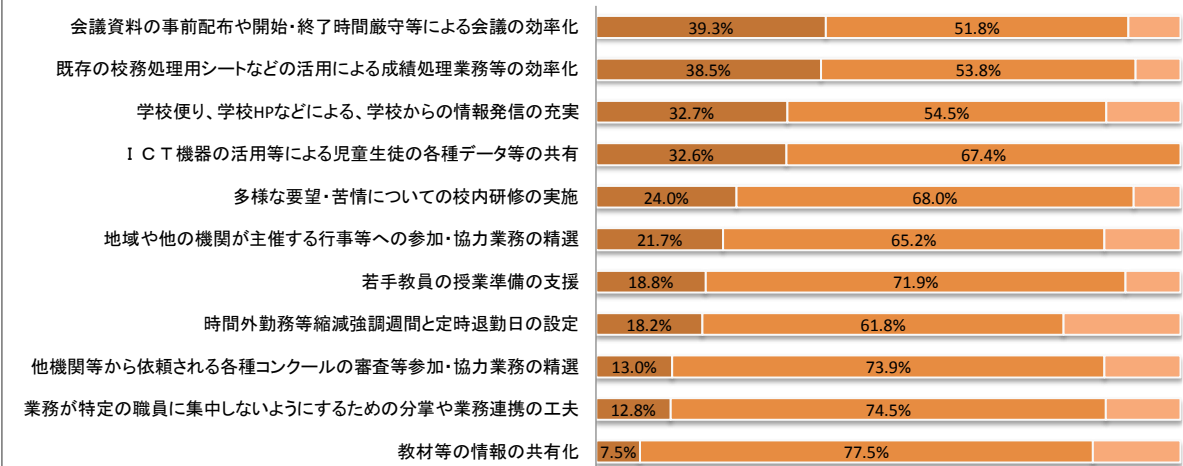
取組項目毎の実施状況(特別支援学校)

■ 実施済 ■ 実施予定 ■ 予定なし



取組項目毎の効果(特別支援学校)

■ とても効果有り ■ わりと効果有り ■ あまり効果なし ■ 効果なし



資料 4

部活動の効果的な指導の在り方の調査研究（部活動指導員の配置）について

1 取組の趣旨

中学校及び高等学校における部活動は、生徒にスポーツや文化などに親しませ、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等に資することから学校教育の一環として取りくまれているところです。

しかし、一部において部活動の活動時間が長時間に及び、中学校や高等学校の教員の時間外勤務等に占める部活動の割合が最も高くなっているなど、生徒や教員の負担が過重になっている状況が見られることから、生徒や部活動指導に従事する教員の負担軽減を図る必要があります。

また、一部の教員への過度な負担や、指導経験のない教員が部活動を担当することによる精神的な負担などの課題もあります。

こうした状況に対応するため、非常勤の部活動指導員を配置し、複数の部において指導を補助したり、顧問が指導に当たることのできない場合に代わって指導するなど、部活動における指導方法及び指導体制を工夫し、効果的な指導の在り方の調査研究を、高等学校 1 校（北海道札幌東陵高等学校）及び中学校 1 校（石狩市立石狩中学校）で取り組みました。

2 取組の概要

〔目 的〕

非常勤の部活動指導員を配置することにより、指導方法及び指導体制を工夫し、効果的な指導の在り方の調査研究を行う。

〔取組内容〕

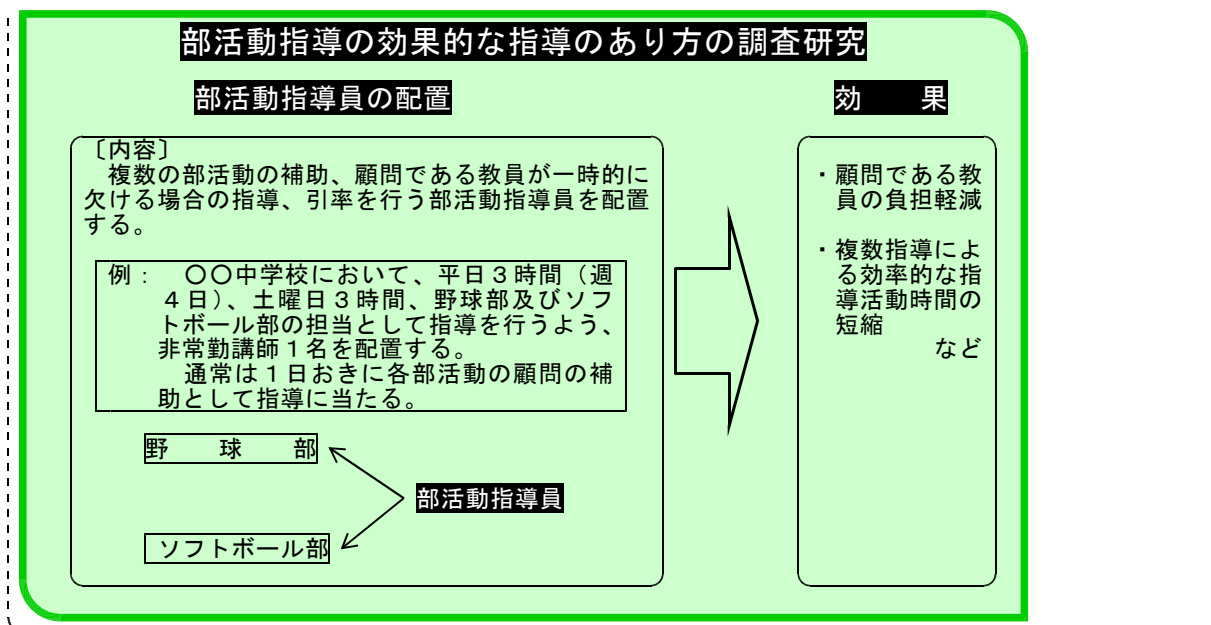
非常勤の部活動指導員を配置し、複数の部において指導を補助したり、顧問の教員が指導に当たることのできない場合に代わって指導するなど、指導体制等の改善を図る。

（取組例）

- ・ 複数の部活動指導の補助
- ・ 顧問である教員が一時的に欠ける場合の指導・引率

〔部活動指導員の配置日数等〕

- ・ 非常勤職員を配置することによる効果を検証することが目的
- ・ 単独での指導も想定し、教員免許状を有することを要件としている
- ・ 1 日 3 時間程度で、指導日数は 9 0 日程度



3 北海道札幌東陵高等学校の取組

【取組の概要】 「部活動における部活動指導員の効率的な活用について」を研究テーマに、平成２２年７月１２日から、男子バレーボール部に部活動指導員一名（専門：バレーボール、男）を配置し、 ① 顧問の負担軽減の状況 ② 部活動指導員の勤務時間（３時間程度）の是非 ③ 部活動指導員による部活動指導に対する生徒（部員）の考え 以上三点の検証を行う。 【取組のポイント】 ① 活動指導改善プロジェクト会議の設置及び部活動指導員、部顧問を含めた月一回の綿密な打合せの実施 ② 男子バレーボール部だけを指導した場合と体育館を利用している４つの部（男女バレーボール部及び男女バスケットボール部）を指導した場合の効果の比較

1 取組の背景

本校では、平成２０年度入学生から、入学試験の成績により、上位８０名から成る特別クラス（２クラス）を編成し、週３回の７時間目授業を設定するなど、学力向上及び進路実現をめざしている。

また、この２クラスの生徒には放課後講習への参加も義務付けていることから、部活動における課題は、「部活動時間が短いこと」と、「部活動顧問によっては、７時間目終了後に放課後講習を行い、その後で部活動指導をしなければならず、その時間的及び身体的負担の軽減」が大きな課題になっていた。

それに加え、当該の男子バレーボール部顧問は、公私にわたって多忙を極め、特に土曜日及び日曜日、部活動指導ができないなど、活動に支障を来たしていたので、本事業による部活動指導員（専門：バレーボール）の派遣を要請した。

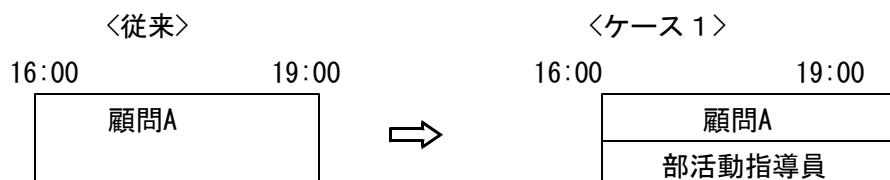
派遣された指導員は、元道立高校の男性体育教員で、北海道バレーボール協会の理事を務め、上級審判員及び上級指導員の免許を持ち、年齢は70歳である。

2 具体的な取組内容

〔ケース1〕部活動の全部を顧問と部活動指導員が共同して指導

（取組内容）

部活動を3時間通して、顧問Aと部活動指導員が共同して指導する。



（従来の問題点）

顧問Aの負担が大きい。部活動以外のことにかける時間が少なくなり、担任業務や教科の準備等にかかる時間が確保できない。また、顧問Aの指導法に頼るところが多く、より適切な指導法を知る機会がない。

（取組の効果）

効果については、顧問Aに担任業務等が残っていた場合については指導員に指導をお願いできるなど、顧問Aの時間の使い方を弾力的に運用することができることが挙げられる。また、部活動指導でも指導の方向性を共有しつつ、複数の視点から生徒に指導することで、生徒がよりわかりやすく、かつ考えながら部活動に取り組むことができる。

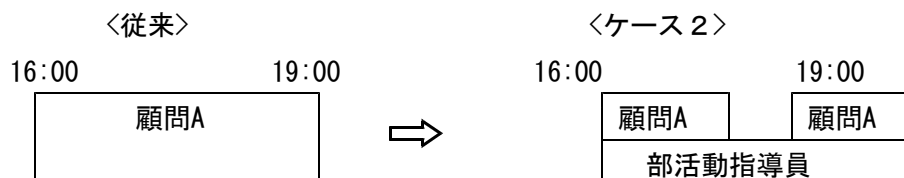
（取組の課題）

課題については、部活動の方向性を正確に共有していない状態では、二人の指導が別々のものになってしまい、生徒はどちらの指導に従って良いのか困惑してしまうことがあるため、最初にしっかりと方向性を共有する必要があるということである。

〔ケース2〕部活動の一部を部活動指導員が単独で指導

（取組内容）

部活動の3時間のうち、一部を部活動指導員が単独で指導し、一部を顧問Aと部活動指導員が共同して指導する。



（従来の問題点）

顧問Aの負担が大きい。部活動以外のことにかける時間が少なくなり、担任業務や教科の準備等にかかる時間が確保できない。また、顧問Aの指導法に頼るところが多く、より

適切な指導法を知る機会がない。

（取組の効果）

効果については、顧問Aが空いている時間に担任業務等をこなすことができることが挙げられる。また、部活動生徒は専門の指導員から指導をしっかりと受けられるため、集中して部活に取り組むことができる。

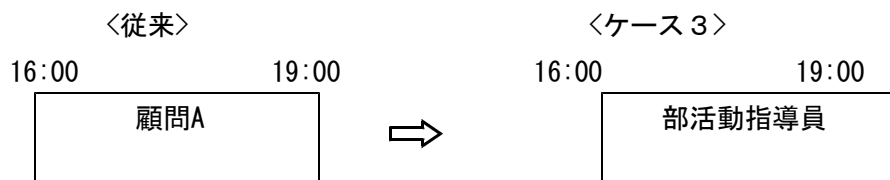
（取組の課題）

課題については、部活動指導の中心が指導員になるため、顧問Aは部活動の進捗状況を指導員と密に取る必要があることである。

〔ケース3〕部活動の全部を部活動指導員が単独で指導

（取組内容）

部活動の3時間を通して、部活動指導員が単独で指導する。



（従来の問題点）

顧問Aの負担が大きい。部活動以外のことにかける時間が少なくなり、担任業務や教科の準備等にかかる時間が確保できない。また、顧問Aの指導法に頼るところが多く、より適切な指導法を知る機会がない。

（取組の効果）

効果については、顧問Aの負担が大幅に軽減され、担任業務等に専念することができる。時間外勤務の軽減にもなる。また、部活動生徒は専門の指導員から指導をしっかりと受けられるため、集中して部活に取り組むことができる。

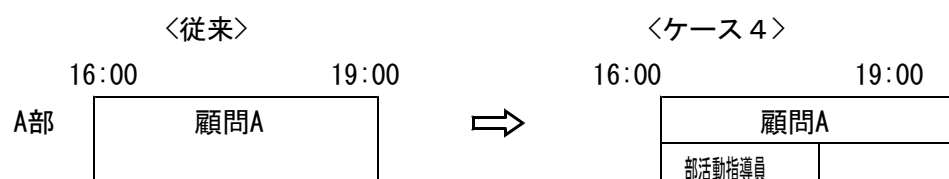
（取組の課題）

課題については、部活動指導の中心が指導員になるため、顧問Aは部活動の進捗状況を指導員と密に取る必要があることである。

〔ケース4〕複数の部活動を部活動指導員が交代で指導

（取組内容）

部活動指導員が複数の部活動を巡回して指導する。



B部

顧問B



顧問B
部活動指導員

（従来の問題点）

顧問A、Bの負担が大きい。部活動以外のことにかける時間が少なくなり、担任業務や教科の準備等にかかる時間が確保できない。また、顧問A、Bの指導法に頼るところが多く、より適切な指導法を知る機会がない。

（取組の効果）

効果については、指導員から指導法を得ることでより効果的な指導を行うことができる。生徒も複数の指導法を知ることで生徒がよりわかりやすく、かつ考えながら部活動に取り組むことができる。

（取組の課題）

課題については、顧問A、Bの負担の度合いはあまり変わらないことである。

〔ケース5〕複数の部活動を部活動指導員が単独で指導

（取組内容）

4つの部活動が合同で基礎トレーニングを行ったり、体育館全体の監視を行うなど、複数の部活動を部活動指導員が単独で指導する。

〈従来〉		〈ケース5〉	
	16:00 19:00		16:00 19:00
A部	顧問A	部活動 指導員	顧問A
B部	顧問B		顧問B
C部	顧問C		顧問C
D部	顧問D		顧問D

（従来の問題点）

顧問A、B、C、Dの負担が大きい。部活動以外のことにかける時間が少なくなり、担任業務や教科の準備等にかかる時間が確保できない。

（取組の効果）

効果については、顧問A、B、C、Dの負担が軽減されることである。生徒も合同でトレーニングすることでモチベーションの向上にも繋がる。

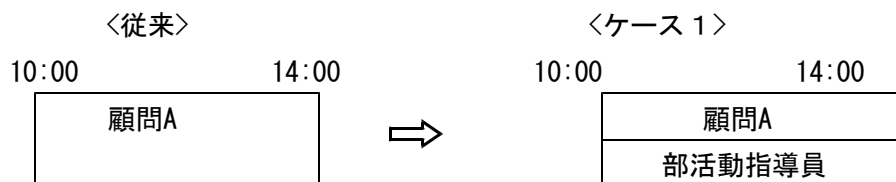
（取組の課題）

課題については、基礎的なトレーニングが中心であると長時間の運用が難しいことである。

〔ケース 6〕 対外試合の引率補助

（取組内容）

部活動を 3 時間通して、顧問 A と部活動指導員が共同して指導する。



（従来の問題点）

顧問 A の負担が大きい。また、顧問 A の指導法に頼るところが多く、より適切な指導法を知る機会がない。

（取組の効果）

効果については、複数の視点から生徒に指導することで、生徒がよりわかりやすく、かつ考えながら部活動に取り組むことができる。また生徒が怪我をした場合についても、複数顧問の方が対応しやすい。

（取組の課題）

課題については、二人の指導内容が別々のものであった場合、生徒はどちらの指導に従って良いのか困惑してしまうことがあるため、最初にしっかりと方向性を共有する必要があるということである。

※ すべての時間を顧問と指導員が共有することになると、顧問の負担軽減には繋がらず、効率的な活用とは言えない。顧問と指導員が部活動の進む方向性を共有し、指導の中心は専門の指導員にお願いした上で、顧問は部活動の進捗状況を正確に把握する態勢をつくるのが現時点では適切な方法ではないかと考える。

3 取組の検証

（1）既存の外部指導者派遣事業との比較

道教委が実施している既存の外部指導者派遣事業と比較して、部活動指導員配置事業は次のような違いがある。

比較の観点	外部指導者派遣	非常勤職員 （部活動指導員）
指導回数	27 日	90 日
指導時間	2 時間	3 時間
指導内容	特定の競技種目に指導が限定	複数の部活動指導が可
単独の指導	不可	可
態様	ボランティア	職員
生徒引率	不可	可
サービスへの理解度	低	高

以上のことから、非常勤職員として部活動指導員を配置することには、次のメリットがあった。

- ① 指導回数が多く、指導時間も長いことから、技術面での十分な指導が可能であり、部員との信頼関係を築く上で大切なコミュニケーションを図ることができる。
- ② 教員免許（保健体育）を持っている非常勤職員を配置することにより、学校教育、施設設備、教育公務員として服務等を熟知しているので、安心して指導を任せることができる。
特に、部活動指導に当たって、言動を含め全般にわたって責任があることを理解しているので、不祥事（体罰、セクハラ等）の心配がない。
- ③ 外部指導者の場合、特定の競技種目しか指導できないのに対して、部活動指導員（元体育教員）の場合、体育館を使用している男女バレーボール部及び男女バスケットボール部の複数の部（４部）の指導が可能である。
- ④ 非常勤職員を配置することにより、練習試合や大会等の生徒引率補助が可能である。

（２）部活動指導員が複数の部活動を指導した場合の効果について

体育館を同時に使用している４つの部を部活動指導員が指導した場合の効果と課題は次のとおりであった。

① 学校運営上の効果

定時退勤日の実効性を担保できるなど、部活動顧問の勤務負担を軽減できるとともに職員会議の開催日にも安心して部活動ができるなど、学校運営上の効果があった。

② 部活動指導上の効果

４部合同の基礎トレーニングの成果や監視による安全性の確保の観点からは、問題はなかった。一方、技術指導の成果については、専門である男女バレーボールについては問題はなかったが、専門外である男女バスケットボール部において、技術面での成果が上がらなかった。

４部合同基礎トレーニングの成果		技術指導の成果	監視による安全確保の成果
男子バレーボール部	○	○	○
女子バレーボール部	○	○	○
男子バスケットボール部	○	×	○
女子バスケットボール部	○	×	○

（３）部活動指導員の配置時期の検証

年間の時期ごとの部活動における指導内容、部活動顧問の校務の状況、及び部活動顧問の時間外勤務の状況（部活動に関するもの、担任業務等に関するもの）は次のとおりである。

時 期	部活動の状況	顧問の校務の状況	1月当たりの時間外勤務		部活動指導員の配置必要度	部活動指導員の効果
			顧問の部活動指導時間	顧問の担任業務等に係わる時間		
4～5月	3年生が高体連に向けての実践時期になるため、実戦	年度初めの時期であり、担任業務等が煩雑で部活動に				

	に向けてのアドバイスが中心となる。	関わる時間を取りにくい。	1 0	5 7	A	A
6～8月	高体連が終わった後の新チームを作る時期であり、基礎練習や基礎トレーニングが必要な時期となり、専門の指導員が最も必要となる。	6月は定期考査、7月は教員が学校祭や夏季休業にむけての業務が多忙な時期である。	1 3	4 3	A	A
9～11月	新人戦などの大会が始まるため、基礎練習から応用的な練習に切り替わる。試合の反省を次に活かせるよう指導員のアドバイスが必要となる。	練習試合や大会と普段の練習が交互で行われるような時期であるため、練習のある日に指導員が、大会や練習試合は教員の組み合わせが良い。	3 8	6	B	B
12～1月	大会が一段落し、これまでの反省を活かし、チームの中でのポジション変更等、大きな変革を要する時期であり、指導員のアドバイスが必要となる。	定期考査や冬季休業にむけての業務が多忙な時期である。	2 2	3 2	B	B
2～3月	3年生の高体連にむけてのいわば総仕上げにかかる期間であり、指導員の実践的なアドバイスが必要となる。	年度末の時期であり、担任業務等が煩雑で部活動に関わる時間を取りにくい。	1 0	6 2	A	A

※部活動指導員配置の必要度及びその効果を4段階評価（A：非常に高い B：やや高い C：やや低い D：非常に低い）で示すこととする。

部活動は時間とともに基礎的訓練から実践的訓練へと移行するものである。

従って、どこかの時期にのみ指導員を配置するのではなく、年間を通してそれぞれの習熟度に応じて配置されることが望ましいと考えるが、2～3月は部活動にとっては新3年生の高体連に向けての総仕上げの期間であるとともに、教員にとっては期末考査や入選業務、年度末業務が多忙な時期でもある。

この時期の指導員の配置は非常に貴重である。部活動の内容に、実践的なゲーム形式の練習と基礎体力の向上をめざしたトレーニングの両方を取り入れる時期なので、複数部の特に基礎トレーニングの指導では非常に効果があると考ええる。

（４）男子バレーボール部の保護者の意見

- ・子どもの技術レベルが向上し、自分自身に自信を持つようになった。
- ・4月当初、部員が少なくチーム編成ができないので、生徒会執行部員にお願いし、急遽大会等に参加していたが、専門の指導者がいて、部員が増えたことを息子が喜んでいる。

- ・ バレーボール以外でも人生について話をしたり、進路相談もしてくれるので、指導員の先生を信頼していると、子どもが言っている。

4 取組の成果

- ① 顧問（第二学年の担任）の負担軽減により、生徒との面談を勤務時間内に終えることができた。
また、部活動指導員による放課後３時間程度の指導により、定時退勤する日数が増えた。
- ② 部活動指導員がバレーボールの上級審判員及び上級指導員であるとともに、元高校教員でもあることから、部員の技術レベルが向上し、保護者からも絶大なる信頼を得ている。
- ③ 月一回の定例職員会議が開催される時は、体育館を使用している４つの部（男女バレーボール部及び男女バスケットボール部）を指導・監督しているので、安全が確保されている。

3 石狩市立石狩中学校の取組

【取組の概要】

部活動顧問の負担軽減を図り、勤務時間内における業務を効率的にすすめることにより時間外勤務を縮減させることを目的として、外部指導者と連携して部活動を指導し、部活動に拘束される時間の軽減を図った。

【取組のポイント】

- ・平成22年10月から平成23年1月までの間、部活動指導員1名を配置した。
- ・活動している6つの部活動を指導することにより、部活動顧問が活動場所から離れ、業務をすすめた。

1 取組の背景

本校では、時間外勤務縮減をめざす取組として、

- ① 毎週水曜日を会議日として「定時退勤強化日」として位置づけ、生徒の諸活動を停止するとともに、会議を効率的に進め、定時に退勤するよう心がけた。
- ② 年間3回の定期テスト（前期中間テスト、前期期末テスト、後期中間テスト）前諸活動停止期間（1週間）を「定時退勤強化週間」として位置づけ、業務を効率的に行うとともに、定時に退勤できるよう心がけた。

しかし、平日における勤務状況を見てみると、学級・学年や分掌の業務、教材研究など、部活動の指導を終えたあとに行っている様子がうかがえる。また、成績評価の時期などでは、生徒の個人情報を持校外に持ち出さないように配慮するため、遅くまで勤務していることも少なくない。

そこで、平日における部活動指導時間の軽減を図ることを目的として、本事業を活用して、取組を行った。

2 具体的な取組内容

部活動指導1名を活用して部活動顧問の部活動に関わる時間の軽減を図ることにより、業務を効率的に進める。

具体的には、

- ・外部指導者を1日2時間程度（週8時間程度）活用する。
 - ・外部指導者は、事前に部活動顧問と打合せをした後、1つまたは複数の部活動を担当する。
- その間、部活動顧問は部活動の活動場所を離れ、業務を行う。

3 取組の成果

①「定時退勤強化日」について

「毎週水曜日の会議日」は、石狩管内で定着している。生徒も小学校時代から水曜日は一斉下校の日となっていることから、通院などを水曜日に当てている生徒も多い。教職員も会議の準備を事前に行うことにより、会議当日の効率化を図ることが可能になった。

また、管理職も朝の打合せ等で定時退勤を呼びかけたことにより、意識化はできたと考える。

②「定時退勤強化週間」について

「定時退勤日」同様、試験前1週間の諸活動停止期間については、生徒に定着している。こ

の期間中、職員についてもテスト作成業務を早めに進める取り組みや分掌業務等を効率的に進めることにより、期間中定時に退勤することが可能になった。

③「部活動指導員の活用」について

活動している6つの部（バスケットボール部、バレーボール部、バドミントン部、ソフトテニス部、野球部、剣道同好会）をいくつかのグループに分け、屋外で指導する日、体育館で指導する日、廊下で指導する日を設定した。

幸い、部活動指導員が来られた期間が新人戦も終了した「基本練習」を中心とした練習内容であったため、部活動顧問と指導員の打合せも比較的簡単に済み、顧問は活動場所を離れて業務を行うことができた。

また、指導員が高校（体育科）を退職された教員であったため、さまざまな競技に合わせた指導や見守りをしていただけたことが幸いした。

顧問についても、活動場所から離れ、職員室での業務や会議等を行うことができ、業務を効率的にすすめることができた。その結果、部活動のない水曜日以外に仕事ができる日が増えることにより、時間外勤務縮減が可能になった。

4 今後の取組予定

- ・全職員（養護教諭や公務補も含まれている）がいずれかの部活動を担当している。そのため、今回実施できた部活動指導員のように、いろいろな部活動指導を補助できるリザーブ的な役割ができる人員が確保できない状況にある。
- ・今回の事業を受け、部活動の指導時間を工夫することにより、時間外勤務縮減の道筋が感じられてきた。来年度についても、引き続き外部指導者の登用を検討しながら、時間外勤務縮減に心がけたい。

5 取組の効果及び今後の方向性

両校の取組から、非常勤の部活動指導員を配置により、部活動の顧問の業務負担が軽減されたことはもちろん、

- ① 一般的な外部指導者の派遣に比べて、教員免許を有する部活動指導員を配置することは、教育公務員の服務や学校教育についても理解していることから安心して指導を任せることができるなど、指導上の効果が期待できる。
- ② 定数内の教員であれば、他の校務もあるので複数の部活動の指導をすることは困難であるが、部活動専門の非常勤職員であれば複数の部活動の指導が可能である。

部活動指導員が複数の部活動を指導する場合は、専門外の競技での技術面の成果は低いものの、基礎トレーニングや安全性の確保の観点からの効果はあった。

- ③ 非常勤職員であれば、部活動指導とそれ以外の業務の繁忙期を考慮して、必要な時期だけ配置できるので、限られた経費でより高い効果が期待できる。

などの効果があった。

非常勤の部活動指導員の配置は、専門性を有する部活動指導員の人材の確保、他の非常勤講師等との優先度などの課題はあるものの、配置すれば一定の効果は期待できるので、実施する方法はないか検討していきたい。

参照：北海道教委「教育職員の時間外勤務等の縮減について」

<http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ksi/kyoin-zikangaisyukugen.htm>